



UTokyo Compass 3年経過成果報告

2024年11月

多様性の海へ：対話が創造する未来

Into a **Sea** of Diversity: Creating the Future through Dialogue

対話から
創造へ

多様性と
包摂性

世界の誰もが
来たくなる大学

学知を生みだし、つなぎ、深め、卓越性と包摂性を実現

学術での卓越を実現するための、真理への探究心と学問の自由に根ざす研究

地球的な視野、高い倫理、粘り強い実践力、問いを立てる力を育む教育

多様な人間が集まり、課題の発見と共有と解決に取り組む場としての大学

地球規模の課題の解決へ貢献し、世界の公共を担うために創造的に自らの実践をデザイン

インクルーシブで自由なより良い未来社会の創造を目指す

対話が創造する未来

知るために問う



問いを共有する



ともに問う力



理解と信頼へ



多声の協奏

誰もが参加できる海洋観測プロジェクトOMNI

3つの視点 (Perspective)



PERSPECTIVE 1

知をきわめる

真理を探求、多様な学知を創出
公共性へ奉仕、透明性の確保
知の接続機能を持つ拠点、文理
の垣根を越えた連携
好奇心やひらめきを駆動力に、
対話を基礎に



PERSPECTIVE 2

人をはぐくむ

未来を築く卓越した人材を輩出
共感形成の能力を身につける教育
開かれたネットワークの中でしな
やかな対話力を
学生との対話や学生の参加を促進

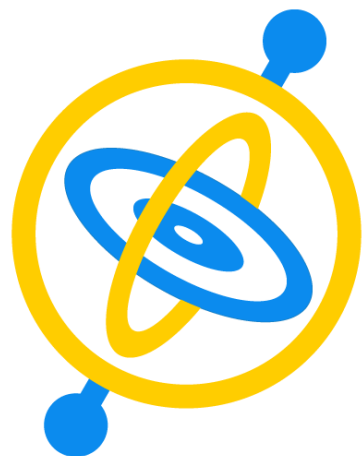


PERSPECTIVE 3

場をつくる

多声性を活力とする場に、対話で包摂
構成員の多様性を重視、デジタル・イン
クルーシブキャンパスを実現
自ら起点となって社会との架け橋を創る
公共的な存在意義や機能への信頼と支持

3つの視点に好循環を生み出すには



新たな時代の大学という法人の自律性・創造性のあり方を検討
**自律的で創造的な活動の基盤となる
経営力を確立する**



大学の経営力とは

「創造的に自らの実践をデザインする力」

国から付託された従来の役割にとどまらない、財務・人事・制度などにとどまらない、学問の裾野を広げていくために必要な不断の改革や進化

経営力を高める



大学の多様な教育研究活動と社会からの支持・支援を広げる
「公共を担う組織体」としての成長モデルを構築

3つの視点 (Perspective)

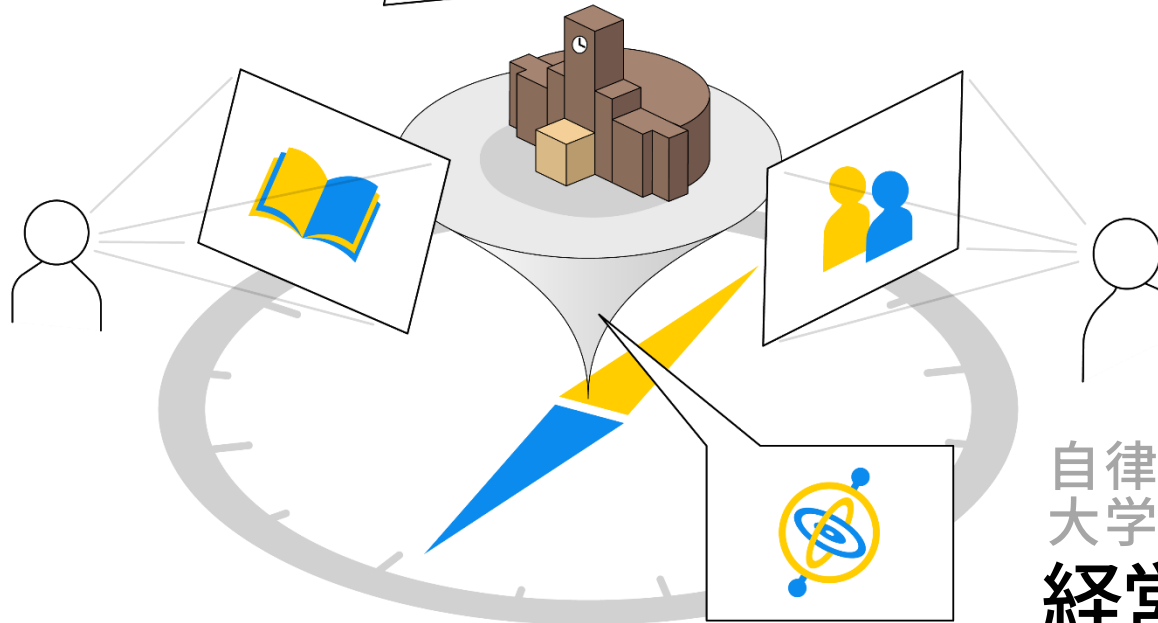
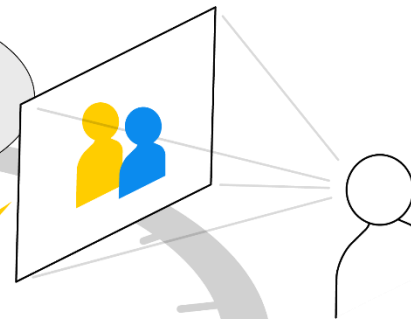
PERSPECTIVE 3
場をつくる



PERSPECTIVE 1
知をきわめる



PERSPECTIVE 2
人をはぐくむ



自律的で創造的な
大学活動のための
経営力の確立

20の目標



経営力の確立

1. 「自律的で創造的な大学モデル」の構築
2. 持続可能な組織体としての経営戦略の創出と大学の機能拡張
3. 大学が果たす役割についての支持と共感の増進



知をきわめる

4. 地球規模の課題解決への取組
5. 多様な学術の振興
6. 卓越した学知の構築
7. 産学協創による価値創造
8. 責任ある研究



人をはぐくむ

9. 包摂性への感受性と創造的な対話力をはぐくむ教育
10. 国際感覚をはぐくむ教育
11. 学部教育：専門性に加えて幅広い教養と高い倫理性を有する人材の育成
12. 大学院教育：高い専門性と実践力を備え次世代の課題に取り組む人材の育成
13. 若手研究者の育成
14. 高度な専門性と創造性を有する職員の育成
15. 大学と社会をつなぐ双方向リカレント教育の実施



場をつくる

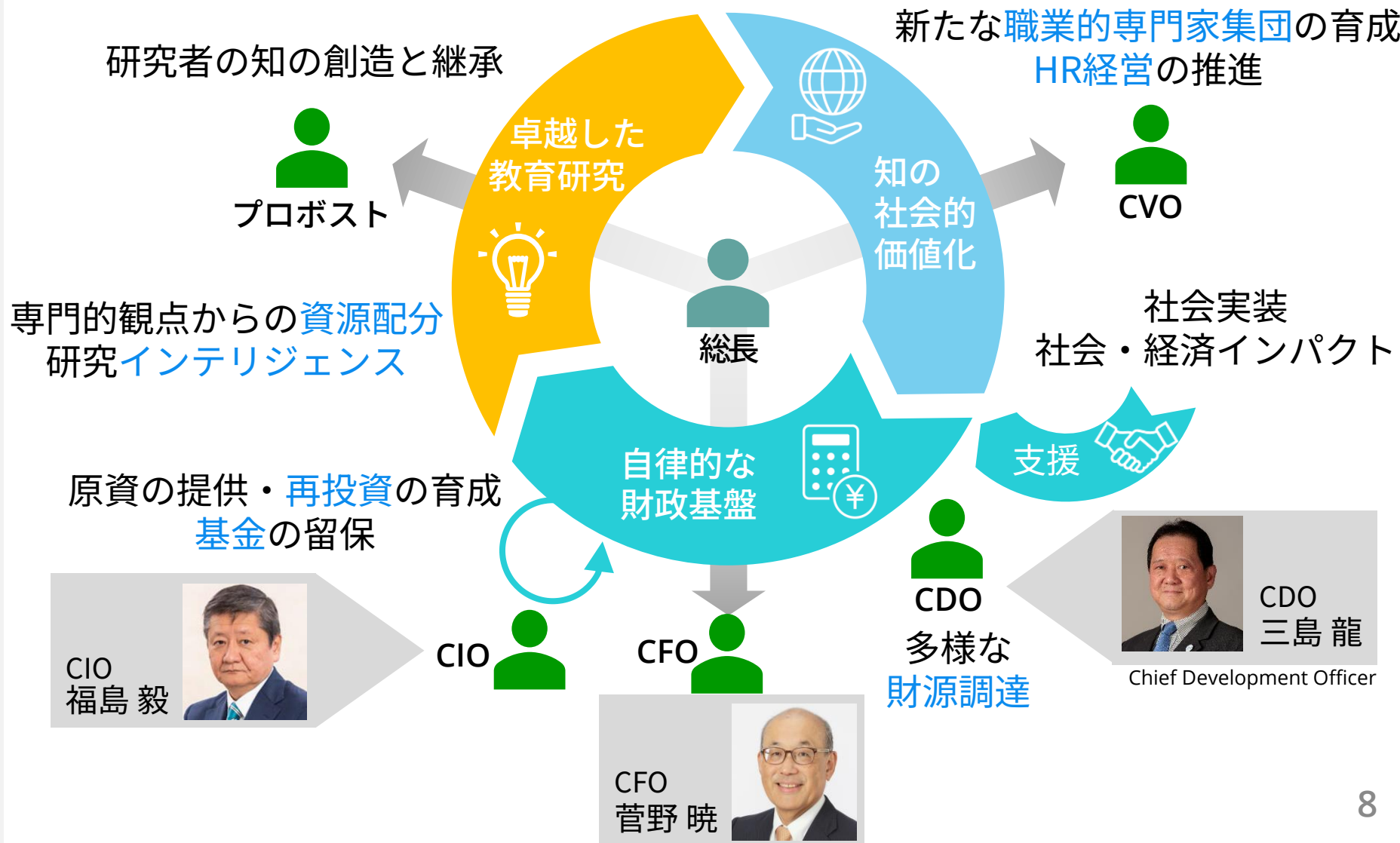
16. 安心して活動でき世界の誰もが来たくなるキャンパス
17. 教育研究活動の支援
18. サイバー空間に広がるキャンパス
19. 社会への場の広がり
20. 国際的な場の広がり



経営力の確立

「世界の公共性」に奉仕し続ける「成長可能な経営メカニズム」

3つのマネジメントの好循環





経営力の確立

スポーツコンパスの制定

東京大学にかかわる構成員や関係者がスポーツに関するビジョンを共有し、多様な構成員のだれもが、各々の適した形でスポーツにかかわり、健康に生活し安全で安心して活動できる環境の構築に努めること、ひいてはその活動が、世界の公共性に奉仕することにつながることを目的として、「東京大学スポーツコンパス」を制定。

スポーツコンパスお披露目の場として、2024年度のホームカミングデーにおいて「スポーツと東京大学」をテーマに講演会およびサイドイベントを開催。





経営力の確立

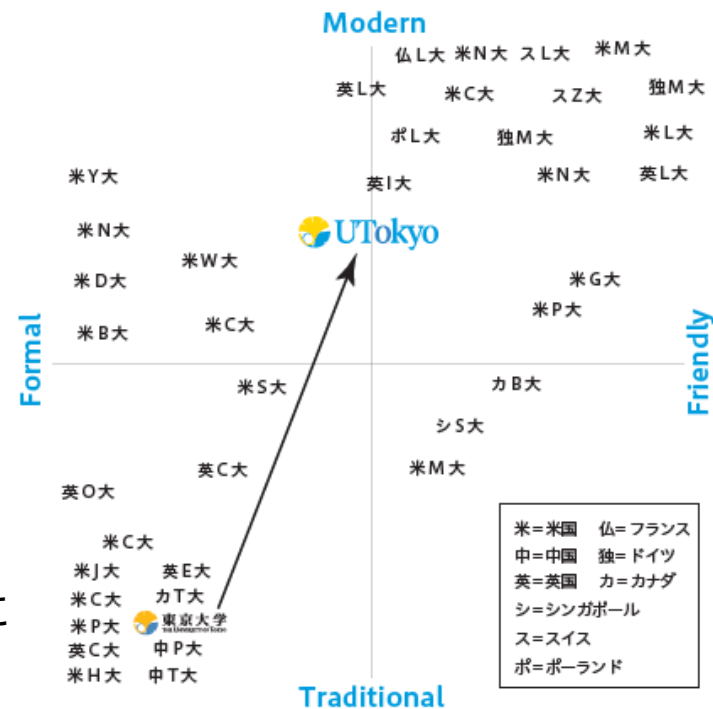
Visual Identity Guidelines制定

東京大学のビジュアルアイデンティティの確立と普及のためUTokyo Visual Identity Guidelinesを制定。

東京大学のシンボルマークである「Visual Identity」、ブランド表現の指針を示す「VI Compass」、デザイン要素である「Typography/Color」を設定。



- モバイルでの視認性の高さを重視
- Formalよりfriendly、伝統より未来を志向
- 世界に開かれた大学のシンボルとして英字に
- 明るくオープンな姿勢を示すため淡青色に





知をきわめる

PERSPECTIVE 1

STS Forumとの連携

2024年5月 STSフォーラムとの連携及び協力に関する覚書を締結

2024年10月 STSフォーラム連携協力委員会を設置、UTokyo Compass推進会議と連携

2024年10月 STSフォーラム年次総会へ参加、生成AIを用いたExecutive Summaryの作成に貢献



Plenary Session 104A

Basic Science, Innovation and Policy

基礎科学、イノベーション、政策について「どのように科学技術を推進していけば今後の世界の発展に貢献できるのか」を行政(文部科学大臣)、学術・研究機関、産業界の立場から議論。



University Presidents' Meeting

Information Overload?: The Impact of Real-Time Technologies on Higher Education

世界から約50大学の学長等が出席。リアルタイムで膨大な情報にさらされる現代社会において、高等教育が公正な教育や基礎研究を如何に向上させるべきかをテーマに議論。



知をきわめる

PERSPECTIVE 1

未来社会が求める医療の実現を目指す

キヤノン株式会社、キヤノンメディカルシステムズ株式会社と、「“個々人のQuality of Lifeを最大化し病とも共生する社会の実現”～個別化医療の社会実装で多様な社会・医療要請を解決～」を共通ビジョンとして産学協創協定を締結。

初となる医療分野をテーマに、個々人に見合った最適な医療の提供を通し、Well-Being（心身ともに満たされた状態を表す概念）な社会の実現を目指す。





知をきわめる

PERSPECTIVE 1

「つながる地域 新しいミライ」

東日本電信電話株式会社（NTT東日本）は、地域循環型社会の実現に向けた、自律・分散型の地域を支える次世代デジタルネットワーク基盤の構築と社会起業家の創出を目的とした産学協創協定を2024年4月17日に締結。

地域循環型社会の実現に向けた、自律型・分散型の地域を支える次世代デジタルネットワーク基盤の構築と社会起業家の創出を目指す。



Copyright © NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION. All rights reserved.





東京大学アタカマ天文台(TAO)望遠鏡サイト完成

東京大学アタカマ天文台 (The University of Tokyo Atacama Observatory: TAO) 計画は、チリ共和国・アタカマ地方にある標高5640mのチャントール山頂 (TAO望遠鏡サイト) に口径6.5mの大型赤外線望遠鏡を建設・運用する計画。エンクロージャを含めた山頂施設が完成し、2024年4月30日に完成記念式典を開催。

知をきわめる

PERSPECTIVE 1



いずれの写真も東京大学TAOプロジェクト提供



人をはぐくむ

PERSPECTIVE 2

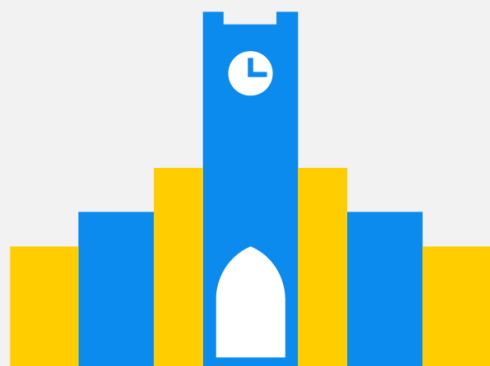
リカレント教育講座ポータルサイトの開設

社会人

2024年6月公開。主に社会人を対象として東京大学が開講している学位プログラム、教養講座、リカレント講座の検索が可能。



©The University of Tokyo



場をつくる

PERSPECTIVE 3

多様性包摂共創センター（IncluDE）の設置

バリアフリー支援室と男女共同参画室を発展的に統合し、2024年4月に開設

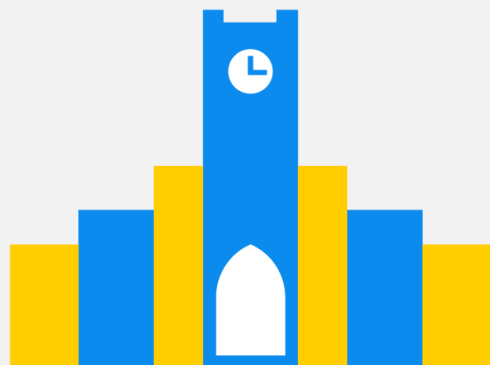
当事者の困り事を起点に様々な実践領域と研究領域をつなぎ、ジェンダー・エクイティとバリアフリーの推進を通して、多様な人々の公平な包摂を実現する学知とキャンパス環境を共同創造します。



IncluDEの目標

1. 当事者と研究者の共同創造
2. 研究と実践の好循環
3. ジェンダー平等の達成
4. ライフステージに合った支援体制
5. 交差性を考慮にいたした支援と環境整備の実践





場をつくる

PERSPECTIVE 3

GXに向けた連携協定締結（文京区・北海道大学）

カーボンニュートラル（炭素中立）、ネイチャーポジティブ（生物多様性）及びサーキュラーエコノミー（循環経済）を含むGXを推進。

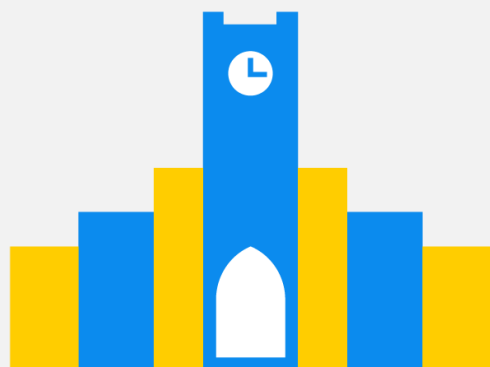
<文京区との協定内容>

1. 地域のGX推進に向けた課題対応のための学術研究の推進
2. GX推進に向けた学術研究の成果の社会実装
3. GX推進に向けた各種取組
4. その他本協定の目的を達成するために必要な事項

<北海道大学との協定内容>

1. GX推進に向けた学術研究の推進
2. GX推進に向けた学術研究の成果の社会実装
3. GX推進に向けた各種取組
4. その他本協定の目的を達成するために必要な事項





場をつくる

PERSPECTIVE 3

一般社団法人「WE AT」設立

アカデミア、行政、企業、投資家がグローバルで連携して社会課題解決を目指すスタートアップを支援する新たなイノベーションエコシステムづくり実現のために設立。

人間・社会・地球環境のウェルビーイングの実現を目指す。

主に以下の事業を実施する

1. スタートアップの発掘と支援
2. 社会起業家教育
3. 事業開発支援
4. スタートアップアワードの運営
5. 関連分野の調査研究と発信



HR経営：プロフェッショナル人材の量的・質的向上にかかる環境整備

HR経営本部においてプロフェッショナル人材の確保、育成、戦略的配置、人件費管理等について企画立案を行う

「HR経営本部」の設置

- ① HR経営本部を設置し、プロフェッショナル人材の雇用、育成（専門化・高度化）、キャリアパス管理及び人件費管理を一元管理
- ② HR担当理事を本部長とし、CFOオフィス等と密接に連携

プロフェッショナル人材とは

- 大学の機能拡張や社会情勢の変化に応じて求められ、教育研究活動の活性化に資する多様な業務（研究支援・成果普及・研究基盤整備等）を最も効果的かつ効率的に遂行することができる高度な専門的能力を有した人材
- 広義には既存の教員・事務職員・技術職員も含まれる

①プロフェッショナル人材の雇用



+

②プロフェッショナル人材の育成
(専門化・高度化)



+

③人件費の管理及び配分

連携

CFOオフィス



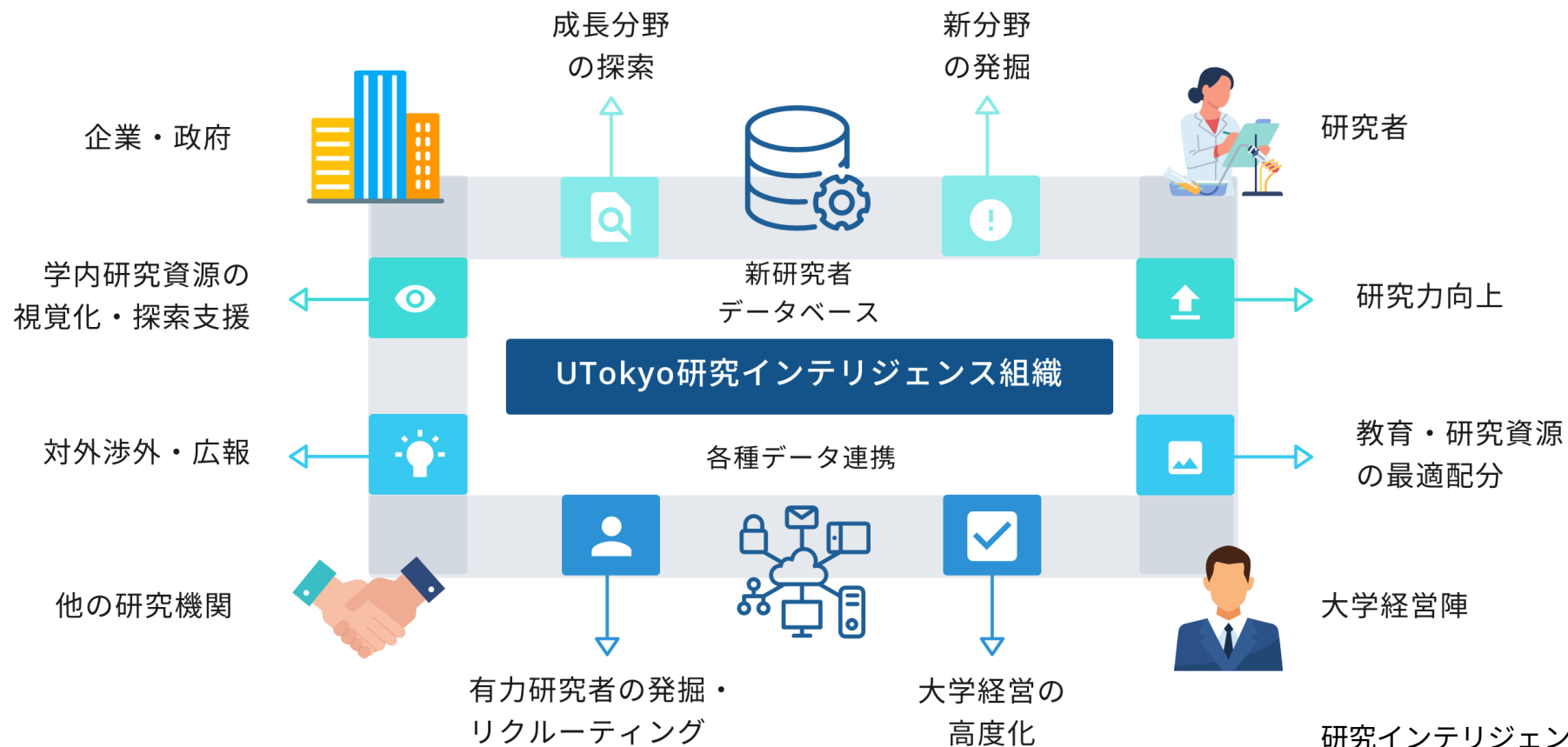
+

④組織及び業務改革



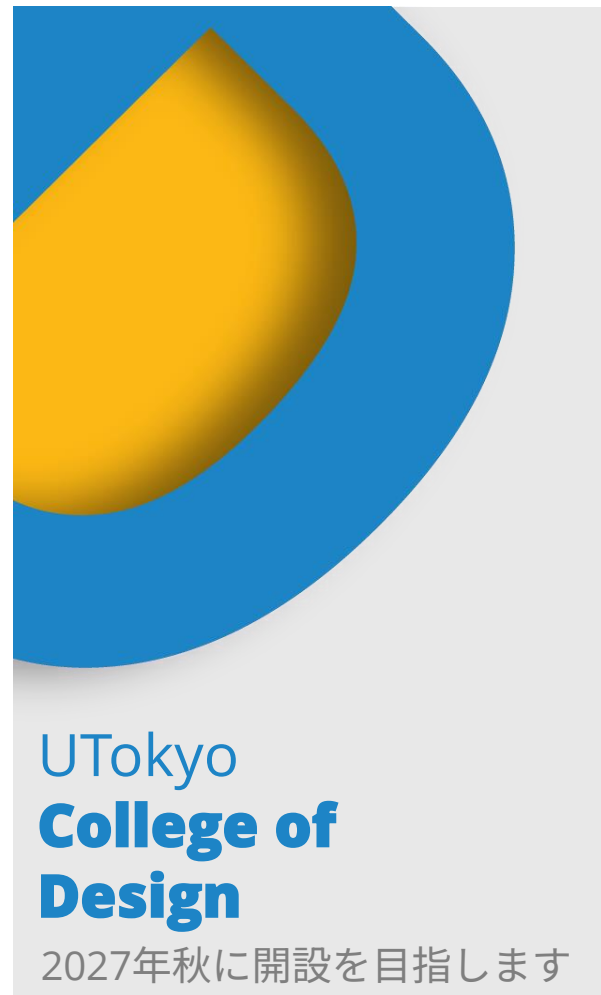
研究インテリジェンス組織の整備

研究に関するデータを収集分析し、データをもとに今後の大学経営の方向性を提言するための組織として整備する



College of Design (仮称) の創設

これまでにない学際的な新課程の開設。既存の学内組織と密接に連携し、知の融合の実現を目指す。



ビジョン

現代と未来の社会変革を促す次世代のリーダー(Change Maker)とそれを具現化するクリエイター(Future Shaper)を育成する。
未来を創る「デザイン」で新しい社会を構築する。

CoDにおける デザインとは

社会システムの変革を含む広い意味での「デザイン」
地球と人類社会の未来の構築に必要な新概念

特徴

個々の学生が、それぞれの興味・関心に基づく学びを構築する。
従来の学問領域にとらわれず、自ら着想する課題に取り組む。
常に市民・ユーザー・当事者目線を念頭に発想し、具現化する。

学びの環境

学士課程修士課程一貫の5年制
グローバル入試により、国内外から多様な卓越した学生を受け入れ
入学時期は秋、すべて英語で学ぶ国際的環境
人文学、社会科学、自然科学、工学などの分野にまたがる学際的な柱
(Interdisciplinary Pillars: IP)に基づくカリキュラム構成
オフキャンパスでの活動や学外のチューターによる実践的な学び

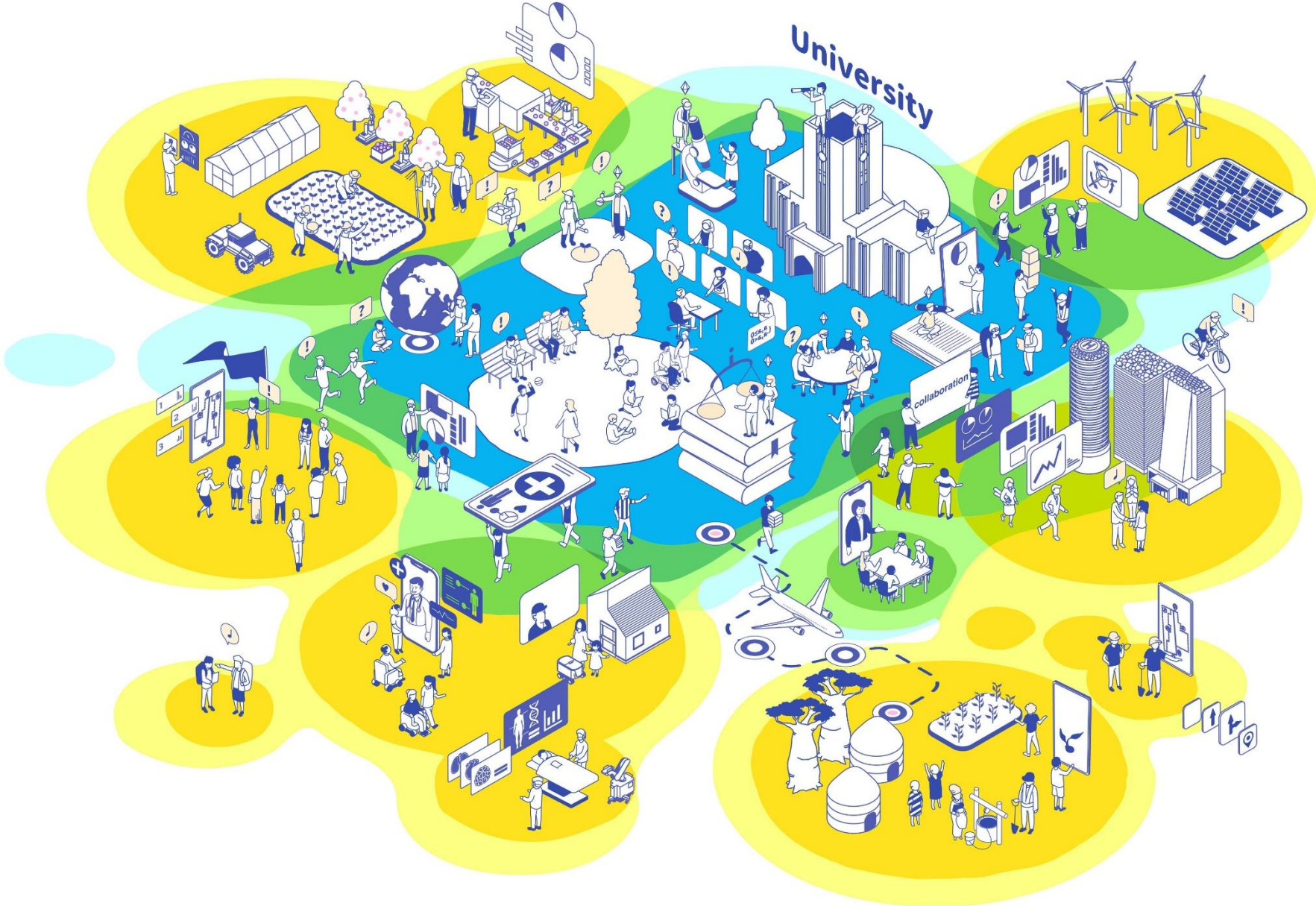
**“A transformative educational journey,
empowering students to shape the future”**

UTokyo COMPASS 2.0 ▲ が描き出すこれからの東京大学

多様な人々が集い、対話し、
新たな学知を生み出す。



多様性に開かれた対話を通じてあるべき未来像を社会とともに創り上げる



UTokyo **COMPASS** 2.0 

多様性の海へ: 対話が創造する未来